

企画名：『岩手さんりくを探求！「YOUTH特派員」』

- 目的：「沿岸部と内陸部を繋ぐ」をテーマに、内陸部の高校生が沿岸部の動画取材を実施。取材構成等を自ら考案し取材。その過程で、沿岸部の被災状況や現状、魅力などを探求し、沿岸部との繋がりを強める。
 - 参加者：盛岡第一高等学校、盛岡第三高等学校の生徒（計8名）
 - 開催日：2024年12月7日（土）～12月8日（日）の1泊2日で実施
 - 取材先：陸前高田市、大船渡市、釜石市、宮古市、久慈市
- ▶・作成した動画は、「新しい東北」官民連携推進協議会のYouTubeチャンネルにて公開中
・取り組みを、同世代向けに「読売中高生新聞」、「YOUTH TIME JAPAN」誌にて掲載し発信

企画名：「STAND OUT 宮城」

- 目的：「交流人口拡大に向けた観光振興」に着目し、既存観光コンテンツのインバウンドに対する魅力を地元の大学生がガイド役を担い、外国人とともに検証、評価。その内容を取りまとめ、コンテンツのアップデートを促進する。
 - 参加者：東北大学、宮城学院女子大学の学生（計7名）、外国人モニター15名（※当日発熱等により3名が欠席）
 - 開催日：2024年12月21日（土）
 - コンテンツ：仙台・松島エリア、石巻・女川エリア、気仙沼・南三陸エリアに分かれ、震災遺構や塩づくり体験などの体験型アクティビティなど、計17のコンテンツを検証・評価
- ▶ 検証結果は取りまとめて協力いただいた各コンテンツの事業者にもフィードバックを予定

企画名：“ふるさと愛”プロジェクト 福島の過去と未来に出会う

- 目的：全国から若者の参加を募り、福島の人々との触れ合いを通して福島への関心を深化させ、福島を愛するメンバーが集う“ふるさと愛”プロジェクトの継続と定着を図る。
 - 参加者：岡山大学、東京農工大学、早稲田大学、東北大学など全国の10大学、計20名の一般参加者に加え、運営委員会として参加した東京大学、長崎大学など5大学（高専含む）、計7名の合計27名が参加
 - 開催日：2025年2月17日（月）～2月19日（水）の2泊3日で実施
 - 実施内容：沿岸部12市町村の観光・移住・起業などプログラムを構成。最終日には集大成としてのポスターセッションを実施。
- ▶ 従来のJヴィレッジでのポスター展示に加え、イベント用のInstagramも活用し、プロジェクトを発信

今年度の企画（招待状作成ワークショップ）の実施報告

企画名：「TOHOKU MOMENT」

東北3県の自然の美しさ、文化、そして震災からの復興へ向かう生活の一瞬一瞬を捉え、人々に深い印象を与えることで、国内外から東北3県に人を引き付ける、全世界に向けた招待状の制作を実施

岩手県

- ・サブタイトル：
「おがるいわて おすそわけ」
- ・参加者：
平館高校、盛岡第三高校、不來方高校の生徒計9名、岩手大学の学生4名、計13名



宮城県

- ・サブタイトル：
「#あなたと繋げるみやぎとみらい」
- ・参加者：
多賀城高等学校災害科学科の1年生、2年生、計10名



福島県

- ・サブタイトル：
「-あなたに来てほしい福島-」
- ・参加者：
“ふるさと愛”プロジェクト運営委員会参加大学生、計7名



作成した招待状を活用したリアルでのイベント展開

作成した招待状のリアルでのアウトプットとして
東京・渋谷の「渋谷スクランブルスクエア」にて
インバウンドを含めた、会場来場者に対して招待状をパネル化したお披露目のための展示イベントを実施

